

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301

お問合せ電話：+81-45-717-8575

中国の黒鉛電極市場について

(2022年2月)

1. 黒鉛電極の生産と価格

春節（2022年1月31日～2月6日）後の黒鉛電極価格は、原料の値上がりの影響で1トン当たり1,500～2,000元（2.74～3.66万円、1元＝18.29円で換算、以下同）上昇した。

2月下旬に入り、ロシアとウクライナ情勢の緊迫から原油先物は一時的に105ドルを突破し、ニードルコークス、石油コークス価格は引き続き上昇している。一部の黒鉛電極メーカーは黒鉛電極価格をさらに1トン当たり1,000元（1.83万円）引き上げた。

北方地域にある一部の黒鉛電極メーカーの生産停止状態が、北京オリンピックの影響で3月15日まで続くと見込まれるため、黒鉛電極は規格により供給不足のものもある。

表 中国の黒鉛電極価格（2月24日現在）

規格	価格		前週比 (%)	前月比 (%)
	人民元 (元/トン)	日本円 (万円/トン)		
UHP600	27,296	49.92	0.4	6.7
UHP450	23,993	43.88	2.8	11.4
HP450	22,427	41.02	2.7	10.6

出典：ICC 整理

2. 黒鉛電極の輸出

中国の黒鉛電極輸出量は2021年12月に3.42万トンであった。

輸出先の最も多いのは、トルコ（0.45万トン）、ロシア（0.4万トン）、韓国（0.3万トン）であった。

3. 電気炉メーカーの稼働率

2月下旬に入り、独立系電気炉企業は生産再開を加速しているものの、多くの企業は長い間に営業損失のため、1日の稼働時間は8時間から12時間程度に抑えられている。

ICCの統計によると、2月24日現在、鉄鋼メーカー135社の電気炉稼働率は46.99%で、前週より19.88%上昇した。その中の独立系電気炉メーカー92社の設備稼働率は38.9%で、前週比22.17%増加した。

ICC等の情報により整理、作成。